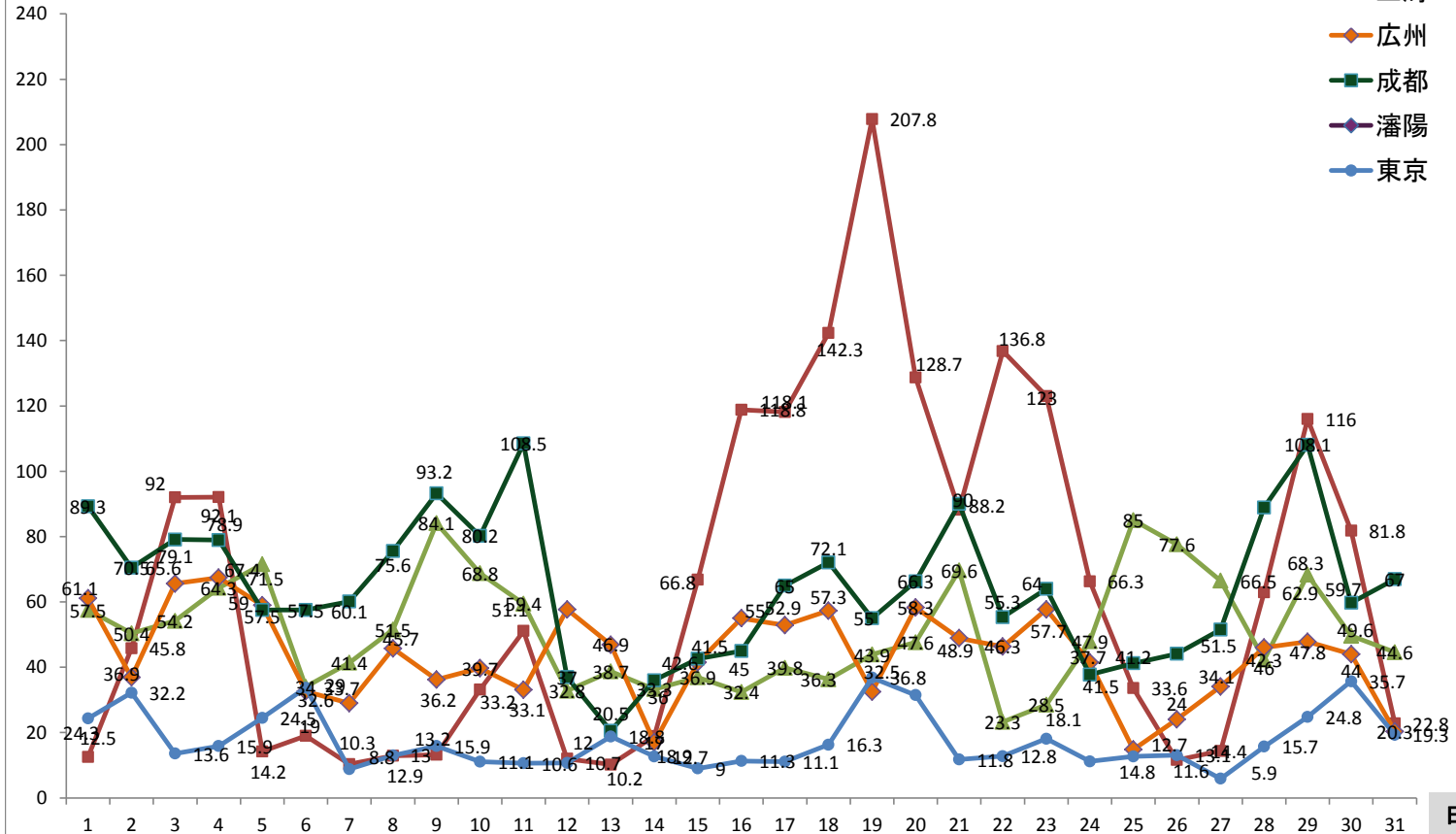


PM2.5数値
μg/m³

2017年3月のPM2.5



中国の環境保護法

イーストウェスト・櫻華メディカルセンター 医療研究班

中国では2014年4月、25年ぶりに環境保護法が改正され、2015年1月より施行が開始された。昨年より本年初頭にかけて北京では嚴重-重度大気汚染の連続警報を発し、1月の北京市人民代表大会では北京市長より警察保護隊の設置など、具体的対策を持つ政府業務報告が発表されたが、その拠り所となるのが同法といえる。環境省水・大気環境課の藤田宏志氏の「中国PM2.5の現状と対応」より、主要な改正点を以下確認していく。

- ・「持続可能な発展」という基本原則を規定。
- ・改正前の「環境保護は経済発展に調和するものでなければならない」との趣旨が、改正後は「経済発展は環境保護との調和を図らなければならない」と変更され、両者に矛盾が生じた際には環境保護を優先する姿勢が提示された。
- ・違法行為への抑止力を高めるため、地方の環境保護部門による取締りの権限を強化。具体的には、違法工場の閉鎖、違法施設の差押え、関連物品の押収、刑事拘留等の権限が認められ、罰金額の上限を廃止した。
- ・深刻化する環境汚染に対して行政が厳しく法執行していないという住民の不満に対応するため、地方の環境保護部門が迅速に取締りを行わない場合に同部門の責任を追及するなど、行政による不法行為や不作為に対する処罰規定が定められた。
- ・汚染排出企業による情報公開の規定を定め、市民参加による企業の違法行為の監督を可能にした。
- ・「環境公益訴訟」の規定が設けられ、一定の要件を満たす団体ならば、環境汚染・破壊により公共利益を損なう行為を訴追できることとなった。
- ・現下の大気汚染問題等に対応するため、国が行政区域を超えた連携メカニズムを構築できることが規定された。

PM2.5の環境基準

	年平均値	日平均値	備考
中国	35 μg/m ³	75 μg/m ³	
日本	15 μg/m ³	35 μg/m ³	
韓国	25 μg/m ³	50 μg/m ³	
米国	12 μg/m ³	35 μg/m ³	
EU	25 μg/m ³	—	
WHO	10 μg/m ³	25 μg/m ³	指針値

2017年	3月度月平均値
北京	63.8 μg/m ³
上海	51.0 μg/m ³
広州	43.6 μg/m ³
成都	64.4 μg/m ³
瀋陽	— μg/m ³
東京	17.5 μg/m ³

本資料は、2017年4月10日現在の環境省「PM2.5モニタリングデータ(海外)」の日平均値を基に、当院において作成しております。尚、数値は、一定期間の精査を経て、修正される場合があります。詳しくは、同省HPをご参照下さい。
東京は千代田区神田司町の日平均値を記載。
※3月の瀋陽の数値は、データ開示無し。